



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間3000円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.com ◇ホームページ http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/



東京高裁前で星野国賠勝利・大坂奪還、高市打倒を訴える共同代表の浅野健一さんと狩野満男さん（1月22日）

2・13 星野さん虐殺居直る国に怒りを 星野国賠控訴審へ

昨年12月にアメリカは国家安全保障戦略（NSS）を発表し、「台湾強奪のいかなる試みも阻止する」と中国侵略戦争を宣言しました。1月3日にはベネズエラを軍事侵略し、グリーンランド領有化に向かって突進しています。「非西半球の競争勢力（＝中国）をたたき出す」ための戦争であり、一切は中国侵略戦争に照準を合わせています。

高市の衆議院解散・総選挙は米NSSのもと、中国侵略戦争に最先頭で参戦するため、憲法9条をはじめとする一切の戦後の制約を暴力的に破壊し、社会を丸ごと戦争国家に作り変えるために「全権委任」を求めるものです。絶対に許せません。

今こそ反戦闘争が求められています。労働者民衆の総力で戦争を必要とする資本主義・帝国主義を倒し、「人間が人間らしく生きられる社会」を作ろう。2・13星野国賠控訴審に集まり、権力への怒りを爆発させよう。

横須賀基地は、在日米軍の中でも最も性犯罪が多い。その横須賀の米軍空母の上で、高市は米軍兵士を前に飛び跳ねてはしゃぎ、「力による平和」のスローガンのもとでこぶしを振り上げた。そこには被害女性に徹底的に寄り添い、性犯罪・性暴力を決して許さない意思も毅然とした態度もなかった。このことをあらためて糾弾する▼軍事・軍隊という「男性的」な力の存在、そこへの「国家間依存」を前に、戦時におけるジェンダー役割（兵士を支える、軍隊の補充・裨（みそぎ）に利用される等）がますます画策され、その為に徹底して女性を貶め利用

星野国賠全国運動 呼びかけ人 船木明貴

する国家、企業や社会のあり様が顕在化してくる。日本では特に家長制的な役割分担や天皇制による臣民思想は戦争遂行にとっての土台である。「夫婦別姓などもつてのほか」、「外国人は排斥」となる。さらに戦場では、男性兵士を使って人民を分断（「民族抹殺、社会破壊」の為に女性・子どもを虐殺）する▼「国家に都合のいい男らしさ、女らしさを温存したままで戦争にブレイキをかけるのは難しい」との指摘もある。だからこそ私たちは革命的な女性解放闘争を帝国主義侵略戦争阻止の軸に据えて、労働者人民の全ての怒りの結集として安保・沖縄闘争、星野・大坂闘争を闘い抜かなくてはならない。

今月の紙面

星野国賠闘争の争点	…2
大坂裁判控訴審の争点	…3
1万人署名で大坂奪還／救援会の闘い	…4
大坂さん面会記	…5
高市戦争政権打倒へ	…6
絵画展 茨城／香川	…7

星野国賠控訴審の争点

戦時下の星野・大坂闘争つづしと 徹底対決し中国侵略戦争止めよう

昨年12月、星野国賠控訴審は裁判長の方針転換で裁判の流れが一変しました。結審だと言っていた裁判長が突然、星野文昭さん虐殺を居直る国の意見書を審理すると宣言したのです。なぜこんなでたらめな主張が許されるのか、怒りに堪えません。今何が問われているのか、改めてはつきりさせ、闘っていきましょう。

沖繩闘争の歴史と今

1971年11・14闘争は沖縄民衆の基地全面撤去という絶対反戦の思いと闘いに応え、戦争を進める政府を本土の闘いで打倒する実力闘争として、巨万の民衆と結合して闘われました。星野さん、大坂正明さんに対するでっち上げ弾圧との闘いは、戦争を許さない労働者民衆の闘いが国家権力の前に立ちほだかってきた歴史です。いま高市政権が日本社会をまるごと戦争に向かわせようとしている中で、これに真っ向から対決する不屈

の星野闘争、大坂闘争の位置は、戦時弾圧を許さない闘いとして、また労働者民衆の絶対反戦の闘いを組織し勝利の展望を示す闘いとして決定的です。星野国賠控訴審、大坂裁判控訴審の勝利とは、戦争を止める闘いと一つのものであります。

大坂正明さんは戦争絶対反対の闘いについて、権力による弾圧に怯むことなく粘り強く立ち向かう不屈性が重要であると、今年の新年メッセージで述べています。基地建設を阻む沖縄・辺野古の闘いと同様に、大坂さんの不屈の闘いは国家権力を震え上がらせ、勝利の展望を日々切り開いています。それは星野さんが44年にわたって築き上げてきたものでもあります。星野国賠における裁判所の対応の変化は、中国侵略戦争に先陣切って突入することを決断した高市政権が、もはや星野・大坂の存在と闘いを容認できないことの表れです。ここに、厳し

いながらも勝利の展望があります。私たちが星野さん、大坂さんの闘いに続く時です。

星野さん虐殺を絶対に許さない

星野国賠控訴審の闘いは、星野文昭さんを虐殺した国家権力との非和解的闘いであり、国家権力を絶対に許さない、国家権力を打倒する闘いです。

星野さんを虐殺した責任はまもって徳島刑務所にあります。2018年8月、星野さんは今まで経験したことのない激しい腹痛で倒れました。徳島刑務所は星野さんを1日休ませただけで通常作業に戻しました。家族、弁護団が何度も精密検査を要求

しましたが、徳島刑務所は拒み続けました。ようやく行った19年3月1日の腹部エコー検査で巨大な腫瘤を発見しながら、星野さんや家族、弁護団にも伝えませんでした。徳島刑務所は星野さんががんであるとかわかっていて、19年4月18日に東日本成人矯正医療センター（以下、医療センター）に移監するまで何もせずに放置したのです。虐殺の主犯・徳島刑務所を、私たちは絶対に許し

世界中で労働者民衆が戦争を進める政府と激突しています。私たちの力で高市を倒そう！

デタラメな国の意見書

一方、徳島刑務所の医療放置問題は不問に付しました。専門誌『医療判例解説』では一般の専門医から「術後管理のイロハのイから間違っていた」「そもそも医療センターで行うべき手術ではなかった」とまで書かれました。追い詰められた国の窮余の策が「そもそも医療センターでは再開腹止血術は不可能だった」から星野の死に責任はないという意見書です。

東京高裁が国のでたらめな意見書を審理対象として取り上げ、判決をひっくり返そうと襲い掛かってきています。高市政権下の星野・大坂闘争つづしとの大激突情勢が到来しました。解散・総選挙で戦時独裁を狙う高市政権と一体の東京高裁を徹底弾劾して闘おう。星野国賠控訴審闘争を、民衆の怒りを集める決定的闘いとして貫き、勝利へ向かおう。

星野国賠控訴審第3回裁判

2月13日（金）午後3時

東京高裁717号法廷／13時半から街宣

大坂裁判の争点と現段階

供述調書のでっち上げを暴く闘いと
救援会の闘いで事実調べ実現しよう

大坂正明さんは無実です。

1971年11・14渋谷闘争（沖縄返還協定批准阻止闘争）を闘い、無実であるにもかかわらず警察官殺害の実行犯にでっち上げられ、46年間も指名手配されてきました。2017年に逮捕、23年12月に一審懲役20年の有罪判決を受けました。大坂さんが死亡した警察官を殴打していたとする客観的証拠は皆無です。



渋谷ハチ公前で高市打倒・大坂奪還を訴える街宣を継続して闘う（1月3日）

でっち上げ調書だけで有罪

裁判で証拠とされたのは、大坂さんと面識のないデモ参加者（群馬の学生）4人の「大坂さんが死亡した機動隊員を殴打しているのを見た」という調書だけでした。連日連夜、密室で少年らを脅迫・誘導してでっち上げた調書です。一審では2人が調書の捏造を弾劾し、一人が病気で出廷せず、残る一人が唯一でっち上げ供述を維持しました。

検察官立証の柱となったAR証言は矛盾だらけで、神山交番前の写真に大坂さんがまったく写っていない事実も明らかにあり、完全に破綻しました。裁判所もAR証言を軸に判決を書くことができませんでした。

そこで裁判所は、法廷で明らかにした事実を抹殺し、50年前の供述調書だけで有罪を認定するという暴挙に出ました。有罪ありきの政治判決です。控訴審闘争は、反戦闘争の一層の爆

発と、裁判所が「信用できる」としたAO供述調書の嘘を徹底的に暴き切る闘いが核心です。供述調書の全面的な分析で嘘を暴いた浜田鑑定意見書

狭山事件や袴田事件でも活躍する供述分析の第一人者・浜田寿美男さんが一審判決の軸になったAO供述調書を徹底的に分析しました。調書には真実の記憶であれば存在するはずの「あ、あのんだ」といった気づきがい切存在しないことが明らかになりました。調書が捜査官のでっち上げ作文である明確な証です。AOさんは法廷で「大坂さん

とは初対面」と証言し、「どうしてこんな調書になったのかかわからない」「なぜうそを言ったのかと聞かれるが、取調室に入ればわかる」と言いました。この「でっち上げ供述が作られていく過程」が一層浮き彫りになり、東京高裁を直撃しています。

大坂署名で反戦闘争を組織し
高市打倒・大坂奪還へ闘おう

一審判決から2年、いまだに裁判の日程が決まっていません。裁判の闘いと、救援会の全力を挙げた闘いが裁判所を決定的に追い詰めています。控訴審開始までに1万人署名を集め、大

坂さん無罪奪還へ！ 東京西部の闘いの報告を紹介します。

「街宣で何人もの新しいアジテーターから『戦争か革命か』の歴史選択を問う怒りに満ちたアピールが発せられました。署名は『西部で1千筆』が見えてきました。何よりも『高市打倒！ トランプ打倒！』の大パネルが目を引きます。間違いなく労働者の階級意識は日ごとに活性化していきます。中国侵略戦争阻止！ 帝国主義打倒を正面から訴えてこそ、大坂さん奪還（大坂さんの闘い）が際立ってきます。戦争突入総選挙粉砕へ、団結して全力で頑張りましょう！」

大坂裁判 控訴審年表

2023年	
12月22日	1審懲役20年の不当判決、即日控訴
2024年	
10月18日	控訴趣意書提出
12月18日	供述調書のでっち上げを全面的に暴く心理学者の鑑定意見書3通を提出し証拠請求
2025年	
1月31日	控訴趣意補充書（1）提出
2月7日	一審判決を全面的に批判する心理学者の意見書を提出し証拠請求
2月28日	検察官が答弁書を提出
3月3日	控訴趣意補充書（2）提出 視力の悪いAO証人が未知の大坂さんを遠距離で識別したとする供述調書はまったく信用性がないとする心理学者の意見書を提出し証拠請求
4月18日	控訴趣意補充書（3）提出
5月8日	救援会が裁判所申入行動、署名3174筆提出
5月30日	救援会が歴史的結合を果たす。星野・大坂全国救援会が発足し、闘いを強める
6月19日	救援会が裁判所申入行動、署名1042筆提出
8月28日	救援会が裁判所申入行動、署名585筆提出
10月16日	控訴趣意補充書（4）提出 検察官答弁書を徹底批判する心理学者の反論書3通提出し証拠請求
11月4日	係属部の裁判長が交代。鈴木巧裁判長に
11月20日	救援会が裁判所申入行動、署名681筆提出
2026年	
1月3日	渋谷反戦デモ、渋谷街宣
1月4日	東京拘置所包囲デモ
	※ 2025年度署名提出合計5482筆 2025年に12回の霞が関デモを闘う 渋谷街宣は24年から15回重ねる

1万人署名で大坂さん奪還へ

大坂署名で「共に闘う人」を組織

北海道星野文昭さんを救う会 鈴木潤

2026年を迎えて北海道星野文昭さんを救う会は、月例の事務局会議を開き、星野国賠勝利と大坂さん無罪・奪還実現へ一層頑張ることを確認し、今年

の運動方針を議論しました。年明け早々のアメリカ・トランプのベネズエラ攻撃で世界が戦争の時代に突入したというのが一同の実感。討論では「トランプは何でもありだ」「麻薬疑惑」は嘘で中国への原油供給を断つのが狙い、「トランプも高市も沖縄・日本・中国が戦火に見舞われてもいいと思ってる」「高市の衆院解散・総選挙は戦争

体制づくりのため」と意見が出ました。いよいよ戦争を实际上止める闘いが求められる時です。反戦闘争への弾圧を打ち破り、星野・大坂闘争に絶対に勝利しようとの思いを共有しました。

劣悪な獄中医療許さない

星野国賠での国側の新たな意見書への怒りの発言が、文昭さんの兄・星野治男さんを始めてして相次ぎました。「医療センター」は「何が普通の病院だ」「徳島市内の『大病院』で手術させなかったのは徳島刑務所」。東京高裁が原判決を覆すのを絶対に阻もうと決意を新たにしました。

日本弁護士連合会が2009〜10年にかけて、徳島刑務所の全国的にも突出した医療体制の不適切さを指摘し、警告したという報告を受けました。必要な医療は行わず、拷問のような行為を医療として行う。あまりにひどいというのが一同の感想。とんでもない刑務所で文昭さん

が闘っていたことに感慨ひとしおです。日本の極悪な刑務所医療で無実の文昭さんが殺されたことを、「でっ上げ・無実」と一体で街宣でも絵画展でも強く訴えることを決めました。

冤罪は必ず覆せると示す

事務局員の間で話題になるのは昨今の特殊詐欺。その半数が警察官を名乗るものです。袴田事件、大川原化工機事件、福井事件と冤罪が次々発覚しています。警察が信用されているのではなく、無実でも有罪にされるから逆らったら怖いという感覚かもしれません。冤罪は必ず覆せるという確信を広めたいです。

今年の絵画展は例年通り数千、数万の人の目に触れる形で開催することにしています。そのために月例の街頭宣伝を継続し、大坂さん解放署名を全力で集めようと再確認しました。ここ数年、街宣や絵画展で協力してくれる人が少数ながら出ています。冬は最高気温も氷点下の札幌の中心部には地下道が広がっています。そこを往来する万余の民衆に星野・大坂を訴え、ともに闘ってくれる人をどんどん作り出せるよう頑張ります。

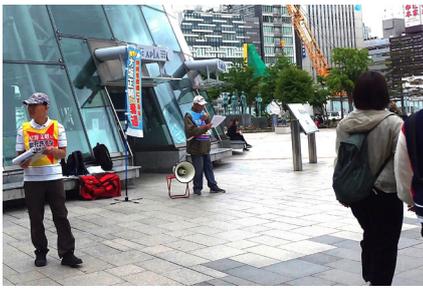
1月4日、救援会は大坂正明さんが9年間も囚われている東京拘置所前に集まり、無実の大坂さんの一日も早い解放を誓う集会とデモを行いました。

東京拘置所の隣にある小菅万葉公園には120人を超える仲間が集まりました。誰もが「今年こそは大坂さんを取り戻す年になりたい」との思いを抱き、狭い独房生活を強いられる大坂さんに届けとばかりに声を上げました。

機感を持って反戦闘争を闘おうと提起している。全力で応えよう」と提起しました。続いて星野暁子共同代表が年末の星野国賠控訴審における裁判所の方針転換を弾劾、「星野の死は不可避だったから医療センターに責任はないとする国の意見書を絶対に許すことはできない」とし、でたらめな獄中医療を許さず、大坂さんの命と健康を守り抜こうと訴えました。

小泉義秀事務局長は基調報告で、前日の米軍のベネズエラ軍事侵略を徹底弾劾し、「大坂さんは中国侵略戦争がこの26年に繰り上がるかもしれないという危

関東各地の救援会が年頭のあいさつに立ち、中国侵略戦争阻止、高市打倒、大坂奪還、星野国賠勝利へ闘いの決意を語りました。迎賓館・横田爆取弾圧元被告の板垣宏さんは「今こそ14闘争を上回る実力闘争が必要だ。巨大な反戦闘争で獄中の仲間を取り戻そう。5月23日には須賀武敏さんが横浜刑務所から勝利者として満期出獄する。弾圧を完全に粉砕した」と訴え、大きな拍手が沸き起こりました。



月例の街頭宣伝で大坂さん解放署名を集める(25年6月 札幌市)

大坂さん絶対奪還へ120人が東拘を包囲

よく晴れた冬空の下、120人が東京拘置所の厳めしい姿を間近に感じながら獄中の大坂さんを思い、デモを闘いました。



大坂さん絶対奪還へ120人が東拘を包囲

年頭の東拘包囲デモに120人

大坂さん面会記

獄中に革命の息吹を

大坂星野救援会 東京北部 坪井静

私は、2025年12月22日、星野大坂救援会共同代表の狩野満男さんと北部の仲間との三人で、大坂さんの初めての獄中面会を実現することができました。

面会を待っている間、大坂さんと何を話せば良いのかと少し緊張していましたが、狩野さんから「そんなに緊張しなくても、あなたならどんな言葉が出てくるじゃない、大丈夫よ！」と励まされました。そしてその不安は大坂さんのお顔を見た瞬間に、一瞬でなくなりました。



東拘包囲デモで大坂さんとの面会報告を行い決意を述べる坪井さん（1月4日）

らの旧友に会うかのような、穏やかな表情を浮かべていました。面会に来てくれたことを、とても楽しみにしていてくれた表情が印象的でした。

仲間と向き合う姿に感動

まず最初に狩野さんから、私の紹介が始まると、大坂さんは「いつもデモの先頭にいる方です！」と一言。これには私も二人も驚きました。

大坂さんは『前進』を読むだけでなく写真からも、私たちの闘いの息吹を感じ取ろうとしてくれているし、何よりも私のことを知ってくれているのは、本当に嬉しいかぎりでした。大坂さんが一人ひとりの闘いに向き合い、たとえ獄中に囚われていようとも、労働者階級と仲間とつながろうとしている姿勢に、深い感銘を受けました。一緒に面会に来た北部の仲間は、大坂さんより年上であり、面識もあつた様子で、大坂さんは「あの

時はどうでしたっけ？」と親しそうに、しかし敬意を払いながら、話をされていました。

石田らの労働者蔑視を獄中から一刀両断する

次に石田グループ・学生たちの話になりました。大坂さんは「拙速だったのでは？」「女子学生は再獲得は何かならないのでしょうか？」と女子学生2人が面会に来た時の様子を交えながら、石田グループの学生たちの今後について暗中模索しているように話した。大坂さんは、女子学生2人が面会に来た時の様子からでは、組織破壊に転じていく姿は想像できない様子でした。こちらも「そうですね、再獲得は運動の中でやっていきま

す」とお伝えしました。大坂さんにとって、石田グループの転落ぶりは、想像を絶する事だったのでないかと感じました。獄中の大坂さんとの一致は、革命を目指す私たちにあって絶対必要であり、大坂さんの疑問について私たちが応えていく姿勢は、すべての労働者階級に対して応えていく姿勢と全く同じです。そして、女子学生の口からはつ

きりと発せられた言葉は「石田と矢嶋の二人の再獲得は無理」

「矢嶋はスイートホームを作りたかっただけ」石田と矢嶋は労働者階級を信じられない」とも。大坂さんの、石田と矢嶋の持つ労働者階級蔑視については、さすが！ 完全に見抜いておられる印象でした。獄中にいながら、『前進』と僅かな情報だけで獄壁を超えて労働者階級と真に一致して、革命に向かおうとしている！ 大坂さんは「石田たちに対する見解はあと一回書いて終わらせる」と表明され、狩野共同代表も、大坂裁判に向けて本格的な闘いの準備にシフトチェンジすると確認されました。

面会で闘う力をもらう

20分間の面会時間はあっという間に過ぎました。面会室を去っていく大坂さんに「1月4日に、東拘包囲デモに来ます！」

と伝えると、大坂さんは手を左右にしながら恥ずかしそうに、「いいよ……。」と一言。この時は苦笑いでした。とてもシャイな一面まで見せてくれた大坂さんとの面会は、最初の緊張とは真逆にもっともっと話していきたい、清々しい時間でした。

面会を通して思ったことは、大坂さんにもっともっと私たちの闘いを直接伝えること、革命的な女性解放闘争の闘いの前進を伝えていくことが獄中闘争の力になるということです。つまり、大坂さんにもっともっと闘う女性の仲間たちの面会を拡大していくことです。多くの女性の仲間たちが、大坂さんの面会に行くようにこれから組織していきます！ そして必ず革命的な女性解放の創成と大衆的爆発で、大坂正明さんの無罪奪還を絶対に勝ち取りましょう！

**無実の大坂正明さんを解放しろ！
東京高裁申し入れ・署名提出行動**

**3月19日（木）正午、日比谷公園霞門集合／霞が関デモ／13時、東京高裁前街宣
／14時、東京高裁申し入れ&署名提出**

1月の安保・沖縄闘争

星野さん大坂さんが闘った
三里塚闘争60年日の旗開き

決戦の年、200人が集う

1月10日、三里塚芝山連合空港反対同盟の新年旗開きが行われ、200人を超える仲間が集まりました。

午前10時前、反対同盟は東峰神社のしめ縄を交換し、集まった支援の仲間を前に市東孝雄さんが年頭のあいさつを行ったのち、皆で市東さんの南台農地へ移動しました。この農地こそ、昨年裁判所が成田空港会社への明け渡しを命じた畑です。一審千葉地裁の不当判決は、空港公



会場に入りきらないほど支援が大結集した団結旗開き。市東さんの音頭で乾杯

団(当時)による書類の偽造を不問に付すために、「畑のどの区画を市東さんが借りていたか」を特定することなく明け渡しを命じる、とんでもないものでした。国家権力のなりふり構わぬ姿勢を露骨に体现した判決は、反対同盟の「農地死守・実力闘争」の60年の闘いが国家権力を追い詰めている証です。午前10時半、集まった仲間たちは市東さんの南台農地から天神峰の市東さん宅まで、26年決選勝利へ強い決意でデモ行進しました。

NSSと対決し戦争止める

デモ終了後、会場を芝山町福祉センターやすらぎの里に移し、新年団結旗開きが行われました。司会の婦人行動隊・木内敦子さんが「耕作権裁判が東京高裁での闘いになる。星野さんの国賠も東京高裁、大坂正明さんの裁判も東京高裁で今年始まる。霞が関を騒然とさせる闘いで反戦

のくさびを打ち込もう」と開会を宣言しました。星野さん、大坂さんの闘いが、三里塚60年の闘いの記憶として刻まれていきます。萩原富夫さんは闘争宣言で、強制収用や卑劣な組織破壊攻撃を跳ね返して実力闘争で闘いぬいた60年を「ゆるぎない勝利」と言い切り、市東孝雄さんが「正

高市打倒！ 中国侵略戦争阻止
国会解散・戦時独裁ぶっ飛ばせ

1月23日、高市首相が通常国会冒頭に衆議院解散・総選挙を行うことに抗議し、星野・大坂救援会も改憲・戦争阻止！大行進が主催する国会闘争に参加しました。全国から160人の仲間が集まり、「中国侵略戦争に全面突入するための戦時独裁を狙



戦時独裁狙う高市倒せ！160人が国会に向け怒りのこぶし(参議院議員会館前)

義は我々の側にある。国家権力は60年、三里塚闘争をつぶせなかった。それは皆さんの力だ。空港廃港へ突き進もう」と意気高く宣言しました。米国家安全保障戦略と正面から激突する三里塚闘争は、中国侵略戦争を止める闘いの要です。決戦の26年、共に闘おう！

中国侵略戦争阻止、大坂奪還・高市打倒！渋谷街宣
2月19日(木) 正午〜午後1時
JR渋谷駅八千公口駅前広場

ったクーデター解散許さない」と怒りの声を上げました。闘いへの注目度は高く、何人もの労働者がスマホ片手に撮影しながら主張に聞き入っていました。「世界戦争の放火者」高市を倒せ！街頭を怒りのアジテーションと闘争で埋め尽くそう」との火の出るような基調提起を受け、集まった仲間が次々発言に立ちました。動労千葉の中村仁副委員長は

「この情勢に労働組合の第一の任務は反戦だ。動労千葉は今春闘を反戦ストライキで闘う」と表明。関西から駆け付けた大行進の仲間「1月5日に大阪で緊急街宣を闘った。仕事始めの日に、30人の仲間が集まって怒りの声を上げた」と報告。「世界中で労働者の闘いが巻き起こっている。日本で数千・数万の闘いを今年私たちが作り出す、そのイメージを強く持つて闘おう」と檄を飛ばしました。「ICE(移民捜査局)解体を掲げて闘うアメリカ労働者のように、入管体制解体へ闘おう。差別・排外主義の高市を打倒しよう」「原発再稼働は高市政権による中国侵略戦争に向けた『公然たる核武装』への転換だ」「高市政権と闘う私たちの姿を世界の民衆が目している。圧倒的展望を持って闘おう」と発言が続き、中国侵略戦争―世界戦争阻止へ闘いのボルテージを上げていくことを誓いました。

絵画展

絵画展と反戦デモ

香川 吉田康彦



反戦デモと絵画展のコラボ企画に挑戦した(1月11日)

1月9～11日の3日間、高松市生涯学習センターにおいて星野絵画展を開催した。年始の米帝トランプによるベネズエラへの軍事攻撃、昨年の高市の台湾有事発言と、着実に帝国主義者らは、戦争の道を突き進み、トランプは文字通り国家安全保障戦略(NSS)を発動している！絶対許さない！その怒りを爆

発させるため11日には、寒風が吹きすさぶ中、高松で反戦デモも行った。

「戦争をとめる力は私たちにある！」。気迫と展望に満ちたデモは駅前の右翼らを圧倒し、成人式に参加する多くの若者の注目を浴びた。徳島刑務所を管轄する四国矯正管区前では「星野さんの獄死を許さないぞ！ 徳島刑務所は責任をとれ！」とシユプレヒコールを上げた。



四国矯正管区前で怒りのシユプレヒコール(1月11日)

今こそ、星野さんや大坂さんが闘った70年安保・沖縄闘争を復権させ、自らの全存在をかけて反戦闘争に立ち上がる時だ！あの大戦で日本帝国主義は、アジア民衆2千万人を殺戮した。その歴史を絶対に二度と繰り返

さない。一人ひとりが新たな時代の責任勢力として登場し、内乱的闘いを巻き起こせば、帝国主義を打倒できる。

中国侵略戦争阻止！ 1万人署名で大坂正明さん奪還、星野国賠完全勝利へ。「全ての人間が人間らしく生きられる社会」を私たちの手で作ろう！

絶対反戦の絵画展6

茨城 日下部伸



12月23日から6日間、JR土浦駅前の市民ギャラリーで絶対反戦！「星野文昭・天国からの絵画展」パート6を開催しました。2018年4月以来この拠点会場での定点&定期(4、8、12月)の絵画展は22回目となりました。

救援会の新しい学習資料

『AOさん法廷証言集』

大坂さん有罪の柱にされたAOさんの供述調書は、いかに作られ、どのようにでっち上げに使われたのか。星野裁判から大坂裁判まで50年、5回も法廷で証言したAOさん自身の言葉から、国家権力による供述調書の捏造を暴く法廷証言集です。

人生をかけてでっち上げ弾圧と格闘するAOさんの魂の叫びを、法廷に入れなかった多くの

方にも是非知っていただきたいとの思いで作りました。巻末に狭山事件や袴田事件の供述分析を行った浜田寿美男さんの著作のエッセンスも収録しています。

A4判40ページ、頒価100円
大坂さんの無実を心の底から確信する一冊『大坂さんパンフレット』も好評発売中。1部500円。学習会も随時受付中。



今回は、10名の友情出展者と多くの会場スタッフに支えられ、116人の来場者がありました。寄せられたカンパ3万円を星野国賠訴訟に寄付しました。

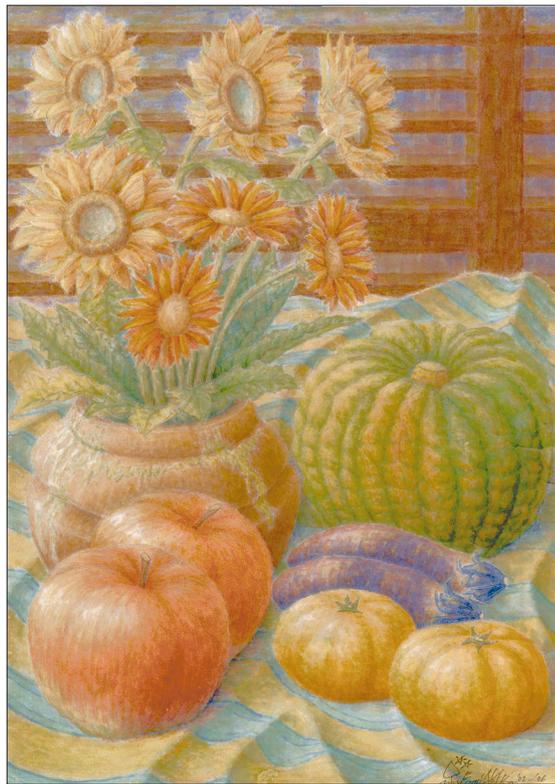
用意した星野カレンダー200部を配り切りました。各家庭で365日、24時間、星野広報をしてくれるでしょう。星野さんの全作品を取りそろえたプレゼント用の缶バッジとミニレプリカは大好評でした。冬休み中の親子連れの来場者も多く、缶バッジ試作体験コーナーは子ども達に大人気でした。電気バイオリンによるクリスマスソ

グやクラリネットの演奏で会場は大いに盛り上がりました。高市打倒、中国侵略戦争阻止、沖縄・琉球弧を再び戦場にするな、パレスチナ虐殺許すな！のパネルの前で来場者との討論も大盛況でした。星野さん大坂さんのパネルの前に立ち止まり、熱心に説明を読む人々も。大坂署名は10筆集まりました。

世界は今、まさに第3次世界大戦前夜です。目指せ！絶対反戦の絵画展。そして「全ての人間が人間らしく生きられる社会」の実現を目指す階級的絵画展を全国各地で展開しよう！

インフォメーション

- 国鉄分割・民営化で不当解雇から39年 2・8国鉄集会
2月8日(日)午後2時 江戸川区総合文化センター
小ホール(JR新小岩駅南口徒歩15分)
主催 国鉄闘争全国運動
- とめよう!中国侵略戦争 2・11高円寺反戦デモ
2月11日(水・休)午後2時 高円寺中央公園
(JR高円寺駅南口徒歩4分)
主催 改憲・戦争阻止!大行進杉並
- 差別裁判糾弾!狭山中央行動 東京高裁包囲デモ
2月13日(金)午前11時、東京高裁要請行動
正午 日比谷公園霞門集合、デモ
主催 全国水平同盟/部落解放東日本共闘会議
- 星野国賠控訴審第3回期日
2月13日(金)午後3時(東京高裁第717号法廷)
- ★東京高裁前街宣 午後1時30分
- 三里塚・東京集会
2月15日(日)午後1時30分 ワイム荻窪
(JR荻窪駅西口徒歩1分)
主催 改憲・戦争阻止!大行進 東京・杉並
- 中国侵略戦争阻止!大坂さん解放 渋谷街宣
2月19日(木)正午~午後1時 JR渋谷駅ハチ公口
- トランプ・高市倒せ 2・22新宿反戦デモ
2月22日(日)午後1時 新宿駅東口広場
- ★集会後、新宿駅一周デモ
主催 改憲・戦争阻止!大行進
- 3・11反原発福島行動'26
3月11日(水)午後1時 福島テルサ・FTホール
(JR福島駅東口徒歩10分)
主催 3・11反原発福島行動実行委員会
- 大坂さん解放! 東京高裁申し入れ・署名提出行動
3月19日(木)正午 日比谷公園霞門集合、デモ
午後1時、東京高裁前街宣
午後2時、申し入れ・署名提出行動(予定)
- 3・29芝山現地闘争
3月29日(日)午後1時開場 芝山文化センター
(千葉県山武郡芝山町小池973)
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟



絵 星野文昭「光の中の静物」2006年制作
文昭の絵は、光を描いている絵だと言ってくれた人がいた。光は見えない人もいるから、光を描くというのは、大変なことだとその人は言っていた。描く対象が広がる前の絵だが、私の好きな絵の一つだ。星野暁子

星野・大坂控訴審勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

国の意見書提出を受けた星野国賠控訴審での裁判所の突然の方針転換は、高市政権による露骨な星野・大坂闘争つぶしです。年頭から米国家安全保障戦略(NSS)の発動としてのベネズエラ侵略・政権転覆が世界を揺るがし、高市政権は中国侵略戦争へ突進するために衆議院解散・総選挙に打って出ました。

戦争か革命かが問われる情勢で、国家の意思をぎりぎり押しする裁判所と対決するには、法廷の内外を問わず社会そのものを揺るがす大闘争が必要です。高市政権と徹底対決する絶対反戦の闘いこそ、星野さんの遺志であり大坂さんが求めてやまない闘いです。星野さん虐殺への怒り、大坂さん奪還への思いを一つの力に!

東京高裁に労働者民衆の意思を強制する、歴史的闘いに挑戦します。裁判や集会・デモへの結集とともに、裁判を支える300万円カンパをお願いします。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

※救援会の口座はゆうちょ銀行です。

星野カレンダー 好評発売中



1冊1200円、5冊以上
1000円(送料別)ご注文は救
援会まで、メールまたはFAXで

大坂署名リーフレット増刷出来

街宣で配布するピラとして、署名集めの武器として、どんどん活用してください。1万人署名達成へ無料頒布中です! 救援会事務局までお申し込みください。